

令和4年度 第4回下松市地域公共交通活性化協議会

議事要旨

○日時：令和5年3月9日（木）10：00～11：30

○場所：ほしらんどくだまつ サルビアホールA

○出席委員：14名（欠席8名）

真鍋委員、河合委員、河内委員、中村委員、田中委員、相本委員、古田尊委員、西村委員、山田委員、弘中委員、久保田委員、田川委員、金織委員、瀬来委員

○事務局：企画政策課

○オブザーバー：株式会社バイタルリード

1 開会

2 議事

(1) 下松市地域公共交通計画（案）について

第1章～第2章について

- ・資料1-1、資料1-2、資料1-3、資料1-4を基に市から説明。
- ・前回の協議会及び協議会後の意見収取で出たご意見、パブリックコメントで得られたご意見等を踏まえ、修正・加筆等を行った。

発言者	発言要旨
会 長	質問、意見はないか。
	(意見なし)

第3章～第5章について

- ・資料1-1、資料1-2、資料1-3を基に市から説明。
- ・前回の協議会及び協議会後の意見収取で出たご意見、パブリックコメントで得られたご意見を踏まえ、修正・加筆等を行った。

発言者	発言要旨
会 長	質問、意見はないか。
	(意見なし)
会 長	前回会議時と比較してページ数が倍になっている。みなさんの関心が高いことから、かなり資料を追加している。また、事業事例は視覚的にわかりやすいような工夫をした。写真も前回のご意見を踏まえて工夫をしている。それでは、事務局が提案した下松市地域公共交通計画（案）について採択をいただきたい。また、これから計画書の表紙デザインや市長挨拶を追加したり、概要版を作成したりすることについても、事務局に一任いただき、併せて軽微な修正についても事務局の責任において修正することも併せてお諮りしたい。ご承認いただける委員は挙手をお願いしたい。
	(委員による挙手)

会 長	ご賛同いただけたということでこのまま進めさせていただく。 4月の計画開始を目指す、これからどう実践するかが大事。フィードバックも大事なので1年1年みなさんの意見をいただきながら進めていきたい。
-----	---

(2) 今年度の実施事業について (報告)

- ・資料2-1を基に、米泉号に関する取組について事務局から説明
- ・米泉号の利用促進の取組として、11月に開催された「くだまつ商工まつり」に出展し、このイベントによって米泉号のことを知った方が、後日米泉号を新規に利用されたという効果があった。また、2月に米川公民館で開催された卓球大会に際して、米泉号の運行時間に合わせて大会の時間を設定し、さらに周知チラシを配布した。大会当日に米泉号を利用して来場された方がいて、その後の利用にもつながっている。次年度は利用促進として、米泉号の試乗会を開催したり、公民館でのイベントについては引き続き米泉号との調整を図っていきたい。
- ・米泉号の予約エリアは、月水金の北エリアと、火木土の中央・東エリアに分かれているが、月水金(北エリア)の利用が非常に少ない。北エリアの方は周南市の須々万方面が生活圏であることも影響していると考えている。次年度は、10月から曜日の限定をやめて運行するように改善を検討している。

発言者	発言要旨
会 長	質問、意見はないか。
委 員	米泉号の利用について、北エリアの方は周南市須々万が生活圏だということだが、北エリアの方が須々万に行く手段はあるのか。
事務局	北エリアから須々万へは主に自家用車を使われて移動している。米泉号のアンケートでは、7割が免許を持っていて車の運転をされている。残り3割の方は米泉号、タクシー、家族や知人の送迎を利用されており、主には送迎かと思われる。北エリア運行をなくすわけではなく、曜日関係なく全エリアで利用できるようになるので、花岡方面へ買い物等に行っていただけるとよいと考えている。
会 長	行政界と生活圏が異なるという話はある。他市との連携は今後の課題としたい。 14ページにくだまつ商工まつりの出展の記載がある。くだまるが米泉号に大きくデザインされており、小さい子供が「くだまる号に乗りたい」と言っていて、保護者の方からどこに行けば米泉号に乗れるのかという質問もあった。ラッピングは一過性でも利用を増やすのに効果があるのかもしれない。他でもキャラクターをデザインした車両もあるので、そういう取組も事業者と協力して進めていただければと思う。

(3) 来年度の事業予定

- ・市より、来年度の事業予定について計画に沿って説明。
- ・説明した以外にも、できるものは実施したり検討したりする。また、予定している事業には、関係者と協働で実施することも多く含まれており、協議の結果、実施がすぐには難しい事項もあると思うが、P D C Aサイクルに則って委員の皆様にご報告する。
- ・現在、予算審議中のため、可決されれば正式決定となることをご承知おきいただきたい。

発言者	発言要旨
会 長	質問、意見はないか。
	(意見なし)
会 長	<p>乗りやすい環境づくりや情報提供の事業が中心になるが、根幹は日常利用の促進である。定期券を安く提供する、企業に公共交通手当を出すなど、斬新な案を出さないと日常利用は増えないのではないかと思う。事業者とともに検討していきたい。</p> <p>計画書63～64ページに乗合型、事業者協力型、タクシー助成など様々な移動手段が掲載されているが、福祉部門とも協議を重ねていきたい。地域住民が協働で推進する「あったか便」や住民ドライバーによるものなど、公助だけでできない部分は、共助も含めて補完するのか、地域と話をしていきたい。商業施設や道路管理者なども含め知恵を出して公共交通を守ってきたいのでご協力をお願いしたい。</p>

(4) その他

発言者	発言要旨
会 長	事務局から事務連絡をお願いしたい。
事務局	異動に伴い委員の交代がある場合は、手続きがあるので事務局へご一報いただきたい。
会 長	では、交通事業者の皆様から現在の取組等についてご紹介いただきたい。
委 員	I C O C Aの導入を2か年計画で進めており、3月25日から周南・下松・光の路線すべてで導入する。バスカードは、まだしばらく利用できるが、販売は3月24日で中止となる。3月18日にダイヤ改正を行い、一部時刻を変更する。
委 員	移動生活ナビ「WESTER」という専用アプリについて紹介する。列車の遅れなどはそれぞれのアプリを活用されていたかと思うが、今回「WESTER」は様々な機能を集約したアプリとなっており、乗換案内、スタンプラリー、会員サービス、I C O C A残高の確認などが利用できる。今回の拡大に伴い、スタンプラリーのキャンペーンを行う。ポイントをためて買い物や運賃支払いに利用できるようになり、登録も難しくないのでぜひ活用していただきたい。

委員	<p>3月18日の改正時刻表を配付している。光市域の変更が主になるが、千坊台団地・亀の井ホテルへの乗り入れを廃止し、光高校経由を増やす。下松については減便して6便運行になる。</p> <p>コロナの影響で高速バスや貸切の利用が戻っておらず、今年度も赤字決算になる見込みである。一般路線の維持が厳しいことをご理解いただければと思う。</p>
会長	<p>事業者が厳しい状況なのは周知のことと思う。人手不足についても行政として何とかしたいと考えている。今後、公共交通を取り巻く環境が厳しくなることが予想されるため、少しでも問題の解決に取り組んでいきたい。</p> <p>他に全体を通してご意見等あるか。</p>
	(なし)
事務局	計画書の製本が完了したら委員の皆様へ郵送させていただく。
会長	以上で第4回下松市地域公共交通活性化協議会を終了する。

— 委員名簿 —

	所属	役職	氏名
1	下松市	企画財政部長	真鍋 俊幸
2	防長交通株式会社	営業部長	河合 貴志
3	中国ジェイアールバス株式会社	運輸部生活交通活性化推進室 室長	河内 政好
4	西日本旅客鉄道株式会社 広島支社	山口地域共生室 課長	中村 恭昌
5	メトロ交通株式会社	取締役	河村 英輝
6	一般社団法人 山口県タクシー協会	理事	清水 延隆
7	下松市自治会連合会	会長	田中 豊
8	シニアクラブ下松	副会長	岩本 昇
9	社会福祉法人 下松市社会福祉協議会	常務理事	相本 美重子
10	下松市小・中学校 PTA 連合会 母親委員会	代表	西村 和歌子
11	下松市連合婦人会	会長	古田 尊子
12	下松市	健康福祉部長	瀬来 輝夫
13	中国運輸局山口運輸支局	首席運輸企画専門官	山田 敏行
14	私鉄中国地方労働組合 防長交通支部周南分会	分会長	弘中 賢男
15	中国地方整備局 山口河川国道事務所	交通対策課長	三浦 道人
16	山口県周南土木建築事務所	企画調査室主幹	壽恵村 良成
17	下松市	建設部長	久保田 幹也
18	下松警察署	交通課長	田川 勇
19	徳山工業高等専門学校	土木建築工学科教授	古田 健一
20	山口県観光スポーツ文化部	交通政策課長	渡邊 昭博
21	下松商工会議所	専務理事	安野 政行
22	下松商業開発株式会社	代表取締役	金織 平浩